

1. 沿革

本町は、江戸川、大落古利根川、中川沿いに形成された集落から発展した町であり、このことは、町内から発掘された文化財等から推測できます。

明治22年4月1日、町村制施行により、松伏、大川戸、田島、上赤岩、下赤岩の5か村が合併し松伏領村、金杉、魚沼、築比地の3か村が合併して金杉村となりました。

昭和30年4月20日、町村合併促進法により、松伏領村及び金杉村の2か村合体合併により、新たに松伏領村が誕生しました。

ついで、昭和31年4月15日、松伏領村を松伏村と村名変更し、更に昭和44年4月1日に町制を施行して松伏町（まつぶしまち）となり、現在に至っています。

2. 位置と地勢

本町は、埼玉県 of 東南部、北葛飾郡のやや南に位置し、都心から30km内の首都圏近郊整備地帯に属しており、東は江戸川を隔てて千葉県野田市、南は吉川市、西は大落古利根川を境に越谷市、また、北は春日部市に接しています。

町域は、東西約4km、南北7.5kmと南北に長く、行政区域面積は16.20km²です。

地形は、一部北部の台地を除いて標高4mから6mの氾濫平野自然堤防で形成された、ほぼ平坦地です。

面積	海拔高度	経緯度		最長距離	
		東経	北緯	東西	南北
16.20km ²	4.2m ~14.0m				
		139度48分55秒	35度55分33秒	4km	7.5km

※平成27年3月6日より

(資料 国土交通省 国土地理院)